

《2022年12月（通算314回）限定サロン報告》

ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構え ーサロン2002行動規範をつくろう！ー

【日時】2022年12月15日（木）19:30～21:30（終了後はオンライン懇親会 23:30まで）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構えーサロン2002行動規範をつくろう！

【参加者（サロン2002ファミリー）14名】★はNPO会員。コメントはチャット欄の引用等

・雨宮知子・半井真明 … 合同会社CHEZA 共同代表／教育とスポーツをテーマに、アフリカと日本をつなぐ各種事業を行なっています

・磯和明 … 仕事：IT業界／プライベートな活動：少年サッカーコーチ、フットサルサークル代表、総 合型地域スポーツクラブ「くにたちエール」等

★熊谷建志 … 会社員／NPO サロン2002 理事

・白井久明 … 弁護士

・鈴木崇正 … 会社員

★茅野栄一 … NPO サロン2002 監事／NPO かながわクラブ理事／公財役員／大学教員／元公務員

・土谷享 … NPO サロン2002 理事／アートユニット KOSUGE1-16

★中塚義実 … NPO サロン2002 理事長／筑波大学附属高校

・野村忠明 … 会社員／埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員

・福地修也 … 筑波大学附属高校保健体育科非常勤講師／福島大学非常勤講師／流山市にある陸上クラブ（流山ホークアイ）で指導しております

★本多克己 … NPO サロン2002 副理事長／NPO 神戸アスリートタウンクラブ理事長／榊シックス

・本郷由希 … 会社員／NPO サロン2002 理事

・柳りこ … 多摩大学経営情報学部事業構想学科3年です。今回初参加です。

【報告書作成】中塚義実

【概要（理事長より）】 ※事前に送った案内より

11月10日にサロン2002ファミリー向けに「理事長からのメッセージ」と「サロン2002行動規範（たたき台）」を送信しました。行動規範は「ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構え」であり、「当たり前」の再確認です。常に見直し続けることを前提に、まずは年内の完成を目指します。12月22日の理事会で確定させ、1月からの2023年度ファミリー登録の際に示すことを想定しています。

今年最後の月例サロンは、サロン2002行動規範について議論する「限定サロン」です。理事間ではかなり突っ込んだ議論をしています。サロン2002ファミリー全体で意見交換したいと思い、この場を設けました。

なぜいま行動規範なのかについて、理事長から改めて問題提起をいたします。そして、指導現場のハラスメント問題、競技団体のガバナンス問題など、昨今のトピックを共有し（この部分の話題提供者募集中）、「サロン2002 行動規範」策定とその有効活用、サロン2002の今後について自由にディスカッションしたいと思います。

せっかくの師走の会合です。終了後の懇親会も含め、有意義な時間にしていきたいですね。

1. 社会の変化とサロン2002のすがたー1997～2014～2022（中塚義実）

今回のテーマ設定の背景について理事長が述べます。問題提起の部分です。

2. スポーツ界の現状と課題ーハラスメント、ガバナンス、コンプライアンス（参加者）

ハラスメント問題やガバナンス問題などで共有しておきたい事例、さまざまな団体が設けている行動規範や指針などを共有します。

3. ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構えーサロン2002 行動規範をつくろう！（意見交換）

・12月22日の理事会で確定しますが、盛り込むべき内容、体裁、提示の仕方など、自由に意見交換しましょう

・行動規範を作っておしまいではありません。これをどう活かすかが重要です

・サロン2002は何をすべきか？ どのように？ こういったことも自由に意見交換したいですね。

*****以下、概要*****

1. 社会の変化とサロン2002のすがたー1997～2014～2022（中塚義実）

⇒ 「理事長からのメッセージ」参照

2. スポーツ界の現状と課題ーハラスメント、ガバナンス、コンプライアンス（参加者）

⇒ 本多氏より、次のサイトが改めて紹介された

・日本スポーツ振興センター 基本理念・ビジョン・行動指針の体系

<https://www.jpnsport.go.jp/corp/gaiyou/tabid/751/Default.aspx>

・JFA サッカー行動規範

<https://www.jfa.jp/respect/declaration/>

・JFA 役職員行動規範

https://www.jfa.jp/about_jfa/organization/code/index.html

⇒ 理事会 ML で関理事から紹介された「ハラスメント 悩み相談室」（厚生労働省）が改めて紹介された。具体例を挙げることも必要との意見があった。

<https://harasu-soudan.mhlw.go.jp/>

⇒ 問題となる発言・行動を防ぐための「アンコンシャス・バイアス」の情報が磯氏より共有された。

<https://www.qualia.vc/unconscious-bias/about/>

3. ちゃんと遊ぶための仲間同士の心構えーサロン 2002 行動規範をつくろう！（意見交換）

「サロン 2002 行動規範（たたき台①②）」をもとに自由に意見交換した。本日の「限定サロン」の位置づけ&ゴールについては次のとおり。①12月22日の理事会で「行動規範」を確定する見通しである。②本日の議論を受けて理事長が「行動規範案（たたき台から一步進めた案）」を作成し、理事会までにファミリー全体に投げかけ意見をいただく。③本日の「限定サロン」では「行動規範」の中身およびサロン 2002 のあり方についての自由な意見交換の場である。

なお本報告は、発言をそのまま掲載する形ではない。また「限定サロン」以前の理事会 ML でのやりとりもいくつか転載する。

1) 「行動規範」の位置づけとまとめ方・使い方

- ・2023年度のサロンファミリーの募集で使えるよう、年内に形にしたい。完璧なものでもなくてもよい。見直しや追記は適宜行う。これをしっかり読み、同意した人がサロンファミリーになっていく。
- ・2022年度の募集の時に「サロン 2002 の約束」をカタチにした。「行動規範」は「約束」とともに、大事にしていることを対外的に示すものでもある。
- ・目指すことがあるが到達できていない。新たに入った人がなかなか定着しない。その原因の一つとして、「ハラスメント」の要素や「遊び心の欠如」があるのではないかというのが、今回の行動規範作成の背景にある。
- ・「100 マイナス1はゼロだ!」。いくら良いことをやってもたった一人（一つ）の問題で積み上げたものはゼロになる。それぐらい厳しい姿勢で、企業内ではコンプライアンスに取り組んでいる。
- ・人権を侵害したり差別的な発言を慎むことは当然であり、そのような発言があったときに放置したら、その言動を行った人と同じ評価が妥当するのだという趣旨を理解できるようなメッセージとすることが重要。
- ・わかりやすく、やわらかく、受け入れやすい言葉で表現するのもよいが、限定的になってしまうのはよくない。幅広く網羅しつつ、具体的な事例は随時盛り込んでいきたい。
- ・サロン 2002 独自の言葉として書けると素敵だなと思うが、労力と時間の制限もある。まずはいまある「たたき台」をもとにして、改訂のタイミングでチャレンジしてもいいなと思う。
- ・“志”との関係、“スポーツ”との関係がもう少しあってよい。前文をとってしまうとどこにでもあるようなものになっている。前文にそういうものがある方がサロンらしいものになると思った。
- ・「ダメなこと」ばかり書かれているが、全体の表現として「～しない」でなく、「～しましょう」のイメージでまとまるとよい。
- ・「これをやりたい」と掲げるものが上の箱にあり、それをするためのインプット（左の箱）と成果としてのアウトプット（右の箱）が示され、そのための「ルール・規範」（下の箱）があるようなまとめ方だと前向きな印象になる。

これをやりたい／目指すもの（上の箱）…

① “志”を一つに共感を大事にする。いろいろな人が自由に発言できる場

② 同じ“志”を持った人が自由に行動できる場。ともに作る。

インプット（左の箱）… 実現するために「多種多様な考え方・アイデアを作る」

アウトプット（右の箱）… 「新しい社会を作る、変化を起こす」

ルール（下の箱）…壁を設けずいろいろな人の話を聞く、否定しない、相手の立場に立って考える etc.

・「行動規範・指針」よりも、JFA の「リスペクト宣言」のようなインパクトのあるタイトルにしてはどうか。JFA をはじめとする、全体的な動きとも連動していることを示すのも重要。

・作っておしまいではなく、活用していく必要がある。たとえば月例サロンの冒頭で毎回読み上げる。

・「こんなことがあった」という事例を集めることも重要。スポーツ界で起きていることについて、もう少し積極的に取り上げる。具体例でやっていく方がよいのではないかと。

・「行動規範」ができたから、若い人や女性の入会が増えるかという、それはわからない。若い人が参加できる実践の場を設け、ともに行動する場をどのように作っていくかが重要。

2) サロン 2002 のあり方

・サロン 2002 は、おじさんたちにとっては快適な場となっているかと思うが、すべての人にとって快適だとは必ずしも言えないのが現状。若い人、女性が快適に過ごせる場でなければならない。現状を改めて再確認し、対応していかなければと思う。高齢者でも元気に事務作業する時代になっているのだから、事務局業務は若い人に、ということも見直していきたい。

・「あらゆる属性の人がいて、自分の考えを安心して言うことができる」ことが大事。いろんな人が、安心してものが言えるようにするためにどうすればよいか。サロン 2002 を活性化するためにどうすればよいかという視点が重要。

・“志”のもとにいろんな人が集まって「語り合う」ことができる。そして“志”実現のために「行動する」ことができる。原点に立ち返って考えていきたい。

・コロナ禍でオンラインのミーティングが増えてきた。オンラインでもいろんなことができることはわかったが、サロンの良さは対面で、互いの雰囲気を知りながら語り合えたところにある。オンラインだと伝えたいことの雰囲気が伝わりにくいもどかしさがある。

・誘われたときに、話を聞きたいので行きますという人もいれば、そういうのが嫌だという人もいる。発言したことに反対されると、必要以上に弱ってしまう人もいる。いやなことはいやと言うことで、意識を変えられれば良いと思う。

・誘われる側から、下の子を誘う側になってきたときに、「誘ったらハラスメント」というのはなかなかつらい。「世代が違うから感覚が違うなあ」で終わらずに、そういう人の考え方を理解したいと気を付けるようにしたい。各世代がそろっていて、いろんな人が意見を言える環境が、多様性を保つうえで大事だと思う。

・不安ややりづらさなどを少しでも感じた際に気軽に声を上げられるような雰囲気（+仕組み）を作る責任をあらためて感じる。

・「相談先がなかったのではないかな」について、行動規範に抵触する行為を積極的に通報していただく、サロン内のヘルプライン（通報）窓口を設置することも考えられる。

・ああだこうだ言うだけでなく、汗をかいて活動する場面を設けることが必要。千曲での大会が定着しているのなら、地元の若い人たちと一緒に汗をかいて行動し、全国から参加した人たちに協力してもらうようなものをつくっていく。サロン 2002 はそれをお手伝いするというスタンスでいいのではないかな。立派な大会になると個性が失われていく傾向にあるのは注意が必要だが…

3) さいごにー野村忠明氏からのコメント

中塚：さいごに、野村さんからコメントをいただきたい。野村さんは「ソーシャルフットボール」へのかかわりを Slack 等で情報発信してくださっている。いまのところそこに関わるのは野村さんのみで、サロンファミリーの中ではマイノリティにあたる。それでも野村さんは月例サロン等に積極的に参加し、とてもありがたい存在である。野村さんの、サロン 2002 への関わりのモチベーションはどこにあるのか？ また自分が思っていることや取り組んでいることを広げていくために、既存のサロン 2002 はどうあるべきだとお考えか？ 抽象的な聞き方になっているけどお聞きしたい。

野村：金曜日は精神科ナイトケアというリハビリに通っている。ここのところ月例サロンは金曜開催が多かったので参加できなかった。今日は木曜日なので参加できた。久しぶりでうれしかった。

スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”という“志”に共感する。ソーシャルフットボールの運営をやっているが、FC プラストというチーム運営にも関わっている。月 2~3 回の練習会で、仲

間とフットサルの練習をしている。すごく楽しい。中でやっている分にはおもしろいが、ソーシャルフットボールが、自分たちの外へ、地域へはつながっていかない。閉鎖的。積極的に外とつながりを持っているのは、埼玉ではソシオ所沢のみ（市の活動に参加）。ほかは外に出ていこうとしない。サロン 2002 の話は世界が広がっておもしろい。地域の話から世界の話へ、あるいは頭部外傷の話などいろいろな勉強になるので参加している。ここでいろんな話をお聞きするのが大好きで、今後も楽しみにしている。

友だちを誘いたいけど、精神障害を持つ人には、「自分はそういうのが苦手なんで…」というネガティブ思考の人が多く、声を掛けられる友だちがなかなかいない。うまく広がっていけない感じがある。

ここで話を伺うのが大好き。いろいろ勉強したいけど、サロン 2002 はどうすべきかについては、具体的には出てこない。ぼくも友達を誘って、広がっていったらと思っている。

中塚：安心して友だちを誘えるような、遊び仲間を広げていけるようなつながりに、引き続きなっていけばよい。そういう観点での行動規範、リスペクト宣言である。

表現はどうなるかわからないけど、今日いただいた意見を踏まえてこちらでブラッシュアップし、「たたき台」から「案」にして、来週の理事会でまとめたい。

続きはオンライン懇親会
(文責：中塚義実)